

# かわら 版

みんなで守り、育て、未来に残そう 地域を支える生活交通

## 公共交通に関する アンケート結果について

井原市公共交通会議では、市内にお住まいの方を対象に、公共交通の利用状況や満足度に関するアンケート調査を行いました  
今号では、その結果をご紹介します

### 調査対象

住民基本台帳により13公民館区別に5800世帯を無作為抽出

### 調査時期

平成25年12月

### 調査方法

郵送による

### 回収結果

世帯票 2142通  
▼回収率 36.9%  
個人票 3563通  
▼回収率 30.7%

ご協力ありがとうございました



井原市公共交通会議では、「井原市地域公共交通総合連携計画」の策定にあたり、平成22年11月に今回と同様のアンケートを行いました。  
計画では、バスの利用状況、バスサービスの満足度について、平成25年度に達成すべき目標が定められており、今号ではその達成状況を中心にアンケート結果をご紹介します。

**目標 1**  
バスに月1回以上乗る人の割合

10.0%

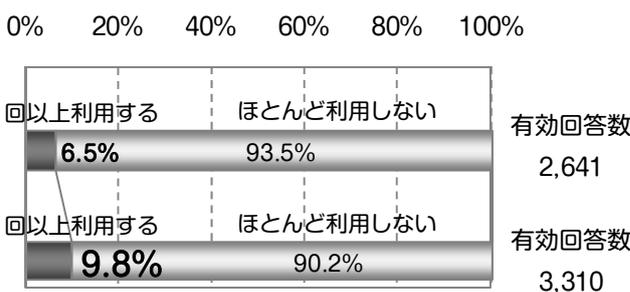
**目標 2**  
バスの総合的なサービスレベルが低いと感じている人の割合

15.0%

## アンケート結果 (前回との比較を中心に)

### バスを月1回以上利用する人が増加

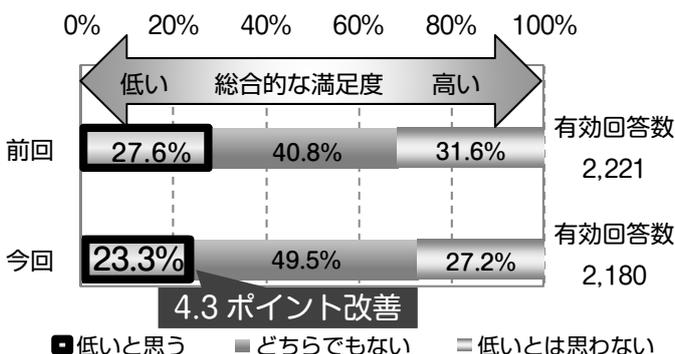
普段のバスの利用状況について尋ねたところ、「月1回以上利用する」と答えた人の割合は9.8%で、前回の6.5%から3.3ポイント増加しました。  
目標の10.0%にはわずかながら届きませんでした。概ね達成することができました。



3.3ポイント増加

### 「バスのサービスのレベルは低い」と感じている人が減少

バスの総合的なサービスレベルについて尋ねたところ、「低いと思う」と答えた人の割合は23.3%で、前回の27.6%から4.3ポイント改善しました。  
目標の15.0%には届きませんでした。概ね達成することができました。

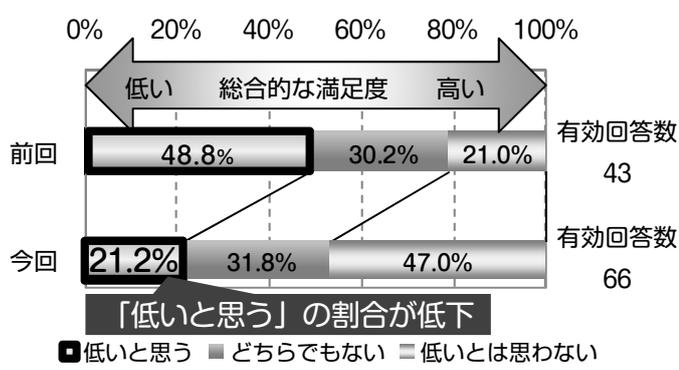


裏面に続きます

## 「バスを普段利用している人」の満足度が向上

バスの総合的なサービスレベルについて、「バスを週1回以上利用している人」の回答結果を見てみると、「低いと思う」と答えた人の割合は21.2%で、前回の48.8%から大きく改善しました。

また、「低いと思わない」と答えた人は47.0%と前回の29.9%から増加し、バスを普段利用している人の満足度が大きく向上しました。



## 満足度が向上するために改善すべきこと

アンケートの結果を分析すると、バスサービスの満足度に影響している要素として、「運行間隔」「運行本数」「バスで行ける範囲」「鉄道との乗り継ぎ」「終発時刻」などがあげられます。その中でも、公共交通の利用者層である、自分で自由に使える車（自家用車・二輪車・原付）を持っていない人に限って見ると、「バスとの乗り継ぎ」「鉄道との乗り継ぎ」「運行間隔」「運行本数」があげられます。

井原市公共交通会議では、今回のアンケート結果をもとに、より利用しやすい交通体系を目指し、様々な事業に取り組んでいきます。



## 利用促進に向けた取り組み

### 報告 子ども車内アナウンスバスを運行します

子どもたちが地域を運行するバスに関わることで、地域の公共交通に対する愛着心を持ち、ひいては郷土を愛する心を育むこと、また、地域の住民にバスに親しんでもらうことにより、さらなる利用に繋げることを目的とし、バス停案内などの車内アナウンスに子どもたちの声を吹き込んで、3月18日から約1年間の予定で、「子ども車内アナウンスバス」を運行します。

対象路線は、井原地区のあいあいバス6路線（嫁いらす



## おしらせ 井原バスセンターの整備について

井原市では、市が所有する井原バスセンターの老朽化に伴い、4月から整備を行います。現在の建物を解体し、新築工事を行い平成27年からの開業を予定しています。工事期間中は、付近の皆様井原バスセンターご利用の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、詳細は「広報いばら」3月号5頁をご覧ください。

